決算特別委員会

決算特別委員会（鳩岡明男委員長、柴田勇雄副委員長）を設置し、９月11日に各会計の24年度決算の審査を行いました。

主な質疑の内容をお知らせします。

一般会計

今後も自治会活動の要望に応え、地域の様々な活動を積極的に支援していく考えです。

鮮やかな黄色い菜種の花に心も和みました（車門）

自治会活動支援の継続は　総務企画

問　高齢化により自治会活動の実施が困難になっていますが、今後も自治会活動に対する支援の考えは。

答　少子高齢化が進む中、町では、協働のまちづくり事業や自治会活動交付金などにより、安心で安全な地域づくりを目指す活動の取り組みを支援しています。

橋の修繕工事今後の計画は　建設水道

問　橋の長寿命化修繕計画による、修繕実績と今後の整備計画は。

答　計画の工事は、橋の架け替えをしないで約20年間の延命化を図る内容です。

22年度から24年度までに、鍋倉橋、赤平橋、繋橋、岩井沢橋の改修を終えています。

25年度は、田野橋と寺畑橋を改修する予定です。

次年度以降は、さらに調査を進め、毎年二つの橋を改修する計画です。

菜種栽培の作付け拡大は　農林環境

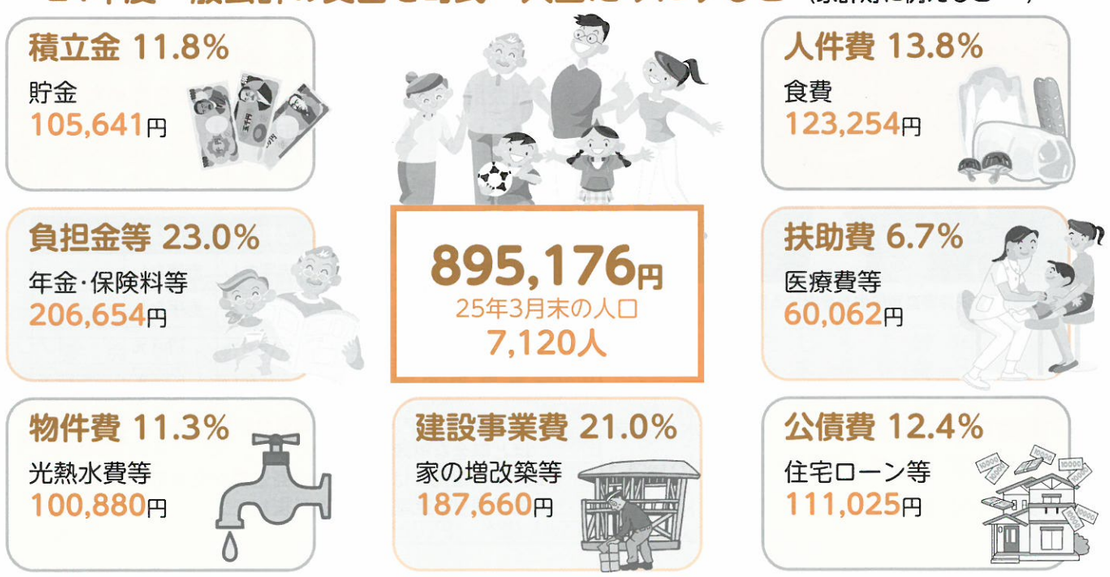
問　耕作放棄地解消のため、菜種の作付けを拡大する考えは。

答　菜種は作付けが容易で、雑草にも強く、緑肥の効果もあります。

耕作放棄地を発生させないように農地を維持する方策として、作付けを進める考えです。

また、一つの作目に限定することで、収穫などの作業機械が1種類で済み、共同利用することで投資の面でも効率的と考えます。

24年度一般会計の支出を町民一人当たりにすると（家計簿に例えると･･･）



特別会計

心の相談員増員の考えは　教育委員会

問　心の教室相談員への相談件数が増加していますが、増員する考えは。

答　現在、各中学校に1名配置して相談に対応しています。

相談件数が増加していますが、問題が多いため増加しているものではないと認識しています。相談員を信頼し、何でも相談できる良い環境にあると考えています。

また、現状で十分対応ができており、増員を要望する声もありませんので、現行の体制で対応する考えです。

江刈簡易水道修繕状況は　建設水道

問　江刈簡易水道の、水漏れによる修繕状況は。

答　24年度の簡易水道施設の漏水による修繕した件数は、107件。うち54件が江刈簡易水道施設の修繕で、全体の50･5%を占めています。

水道管の老朽化で江刈地区の水漏れが増加（写真：岩脇地区）

25年度は、江刈簡易水道が52･8%で、葛巻簡易水道が33%の状況です。

医療体制の立て直しは　葛巻病院

問　病床利用率が低下していますが、新病院の建設に向けた医療体制の立て直しの考えは。

答　病床利用率を上げるため、医師を交えた会議などで対策を検討しています。

また、医療改善のプロジェクトを立ち上げ、安心して入院を過ごせるように、質の高い看護を提供する取り組みも行っています。

そのほか、何でも相談コーナーを設置し、皆さんが気軽に相談できる体制を整えました。

賛成討論（要約）

山岸　はる美 議員

私は、24年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算を認定することに賛成の立場から討論します。

歳入では、道路･農林･教育･情報通信基盤施設などの補助事業の導入や、震災復興特別交付税などにより、所要の収入が確保されました。

歳出では、町民の安全･安心な暮らしの実現に向け、積極的かつ重点的に事業に取り組み、産業振興、教育振興などの分野で着実に推進しました。

特に評価すべき事業は、地域情報通信基盤施設拡充整備事業の「防災情報伝達制御システム」や「エリアワンセグ放送設備」の新設などにより、災害情報などをリアルタイムで受信できる体制が整備されました。

教育振興では、葛巻小学校屋内プールを整備し、一般町民にも開放され、町民が体力づくりできる環境が整いました。

各施策分野において、ハード･ソフトのバランスをとりながら、各種事業が重点的かつ効率的、効果的に執行されたことを高く評価します。

特別会計は、予算の趣旨に沿った執行がされ、所期の目的がおおむね達成されています。

また、新病院の建設は、町民の大きな期待があり、安心して診療が受けられる医療体制づくりを進められるよう期待します。

■反対討論なし